

平成 20 年度第 1 回(通算第 44 回)「市民の皆さんとランチで対話」概要

団 体 名	能代市老人クラブ連合会女性部有志
開 催 日 時	平成 2 1 年 2 月 1 0 日 (火) 正 午 ~ 午 後 1 時
開 催 場 所	二ツ井町庁舎 庁議室
出 席 者	能代市老人クラブ連合会女性部有志 10 人 (能代市 : 市長 他 5 人)
案 件	『市提唱の“わ”のまち構想と高齢者との関わり』について 他
会議の概要	<p>(...市老人クラブ連合会女性部有志の皆さん ...市長 ...局長・課長等)</p> <p>1 『市提唱の“わ”のまち構想と高齢者との関わり』について</p> <p>市の総合計画にある「“わ”のまち能代」について、特に高齢者との関わりについて聴かせてほしい。</p> <p>昨年 3 月、総合計画を策定し、「人の“和”」「環境でつなぐ“環”」「未来につながる“輪”」、この 3 つの“わ”によるまちづくりを掲げてきたが、つまるところは「みんな仲良く」ということ。</p> <p>秋田県の一人あたり県民所得は全国で 42 番目。行政として、すぐに所得を上げることは難しい。</p> <p>「地方」は今までも、好景気といわれた時代でもそれを享受できず、県民所得も上がっていなかった。だからといって、「地方」に住む我々が不幸だったかという、決してそうではないと思う。いわゆる「お金に代えられない価値」をもう一度認識する必要があるのではないか。「地域コミュニティー」「人とのつながり」である。最近は、次第に生活も「都会化」されて、そんなところも忘れかけているのではないか。「まちづくり」を考えると、「外」に頼るのではなく、元々持っている価値に可能性を見だし、それを大事にしていきたいと考えている。</p> <p>「雇用の場の創出」については大きな問題。</p> <p>今やろうとしているのが、「リサイクルポート」能代港を利用し、小坂・大館にある同和グループに物資を運ぶという、環境を考えリサイクルを推進する計画である。</p> <p>それから、身近にある森林資源・農産物と、白神で種々発見される微生物を利用する「バイオマス」による起業。</p> <p>そして、一番の地場産業である農林業を活かして活性化に結びつけることを柱としたい。これに、「人と人との絆」というソフト面を結びつけて「まちづくり」「地域づくり」「人づくり」に活かしていきたい。</p> <p>これを進めることで、今この地に住んでいること・家族を含めた周りに対する「感謝」「思いやり」をもっと持つことができ、もっと地域の良さを引き出すことができるのではないか。ここ能代は、収入は少なくとも、「感謝」と「思いやり」にあふれ、みんなで助け合って生きていく。そんな「“わ”のまち能代」を創っていきたい。高齢者・子供・女性などを大切にし、いわゆる社会的弱者に優しい、配慮のできる街にしたい。そうなれば、全ての人に</p>

優しい街になる。

しかし、そういった「まちづくり」を進めるには経費がかかる。財政はとても厳しく、税等の収入は下がっているが支出は減らない。人件費の削減や予算の定率での一律カットなどしているが、福祉・医療費は増大している。このことが、「高齢化」をマイナスイメージにしている。

そこで、「元気」な高齢者が増えて、自分たちでできることを通じてお互いに助け合っていけば、福祉・医療費の増大を押さえることができるのではないか。そのためには、皆さんが「いきがい」を持って暮らせるような環境づくりが必要と考えている。

高齢者が多いということは、「低賃金で経験豊かで良質な労働力が多い」ということ。それを「まちづくり」に活かしたい。老後を「安心」「安全」に生活していくために、年金だけではなくプラス^{7ル77}を稼ぐことはできないか、と考えている。

そこで、今考えているのは「青空ディサービス」。元気な方たちは、例えば共同で畑を耕したりしたらどうか。「おとも苑」の市民農園を想定している。仲間も増え、お互いが支え合うことができるのではないか。将来的には、65歳以上の高齢者のみで工場を作ってもいいのではないか。そうなれば、仲間が増える楽しみや副収入を得る楽しみが増え、生きがいを持って長生きでき、市としても福祉・医療費の抑制が見込めるのではないか。

二ツ井にも、21年4月から市に移管される「松風荘」があるので、周辺に市民農園を整備できないかと考えている。

基幹産業の農業でいえば、「米」は厳しい状況にあるが、それに代わる作物として「ネギ」が注目されている。2年ほど前から名古屋市場に売り込み、昨年からは横浜市場にも参入しているが、能代産ネギはとても評判がよく、いくらでも作ってほしいと要望される。市民農園から始めて、将来的には「稼げる農業」を目指したいと考えている。

その他、

- ・趣味で作っている作品や小物の販売の提案
- ・定額給付金

などについて、話し合われました。